

### ポデーガードの特長

#### 2成分で高い除草効果

ノビエをはじめとした一年生雑草から、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイなどの多年生雑草に対し高い効果を示します。また、新規成分テフリルトリオンとフェントラザミドの2種混合剤なので、減農薬栽培にも適しています。

#### 抵抗性雑草にも有効

近年問題となっているスルホニルウレア抵抗性雑草(ホタルイ類、アゼナ類、コナギ等)に対しても、新規成分テフリルトリオンが優れた活性を示します。

#### 難防除雑草、特殊雑草にも有効

本剤は難防除雑草(セリ、オモダカ、クログワイ等)にも有効です。また、イボクサ、アシカキ、エゾノサヤヌカグサ、クサネム、アメリカセンダングサ、タウコギ等の特殊雑草に対しても効果があります。

#### 白化症状を示し、殺草スピードが速い

薬剤処理後に雑草が白化作用を呈するので、効果の確認が容易です。また、異なる作用の両成分の共力作用で、殺草スピードが速くなります。

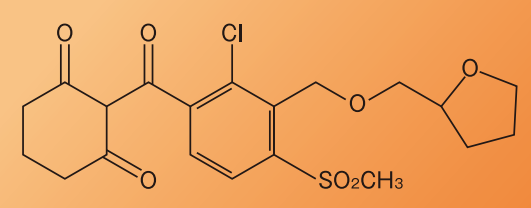
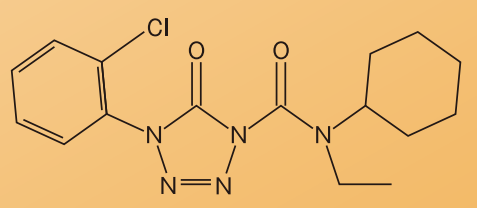
#### 長期間雑草の発生を抑える

各種雑草に対して約40~50日間の残効が期待でき、通常の圃場条件では一回の散布で雑草を防除できます。

#### 水稻に対する安全性が高い

水稻に対する選択性が高く、通常の圃場条件下で安心して使用できます。

### 有効成分の物理化学性と安全性

有効成分含有率	テフリルトリオン(AVH-301) 5.8%	フェントラザミド(NBA-061) 5.8%
化学名	2-[2-クロロ-4-メチル-3-[(テトラヒドロフラン-2-イルメトキシ)メチル]ベンゾイル]シクロヘキサン-1, 3-ジオン	4-(2-クロロフェニル)-N-シクロヘキシル-N-エチル-4,5-ジヒドロ-5-オキソ-1H-テトラゾール-1-カルボキサミド
構造式		

#### 製剤の安全性

人畜毒性: 普通物 (「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指していう通称)  
 経口(ラット♀) LD<sub>50</sub> > 2,000mg/Kg 経皮(ラット♀) LD<sub>50</sub> > 2,000mg/Kg  
 魚毒性: コイ LC<sub>50</sub>(96h) > 1,000mg/L オオミジンコ EC<sub>50</sub>(48h) > 1,000mg/L

### 適用雑草と使用方法

農林水産省登録: 第22616号 (2014年8月現在の登録内容)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	使用回数*	使用方法	適用地帯
移植 水稲	水田一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北) ミスガヤツリ(北海道を除く) ウリカワ クログワイ(北海道を除く) オモダカ ヒルムシロ セリ エゾノサヤヌカグサ(北海道) コウキヤガラ(関東・東山・東海、九州) シズイ(東北)	移植後5日~ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壌土 ~ 埴土	500ml/ 10a	本剤 1回  テフリルトリオン 2回以内	原液 湛水散布 または 水口施用	全域の普通期 および 早期栽培地帯
	水田一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲1葉期~ ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで	埴土 ~ 埴土		フェントラザミド 1回	原液 湛水散布	全域

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の使用回数の制限を示します。

### 注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、移植水稲については田植え後5日後からノビエの3葉期までに、直播水稲については稲1葉期からノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果に差が出るので、必ず適期に散布するようにしてください。ホタルイは3葉期まで、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生初期まで、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイは発生期が本剤の散布適期です。クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、寒い発生期では十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 原液湛水散布の場合は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3~5cm)のまま本剤を水田全面にゆわたるように散布してください。水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3~5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水が流れ出ないように注意してください。
- 散布後3~4日間はそのまま湛水を保ち、田面水を流出させないようにし、散布後7日は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び補付作業は行わないでおこなってください。表層有機物を使用した場合は、特に注意してください。
- 以下の条件では薬害を生ずるおそれがあるので使用を避けてください。  
①砂質土壌の水田及び湛水田(湛水深2cm/日以上)  
②軟弱苗を移植した水田  
③極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
- 直播水稲に使用する場合は、薬害を避けるため稲の1葉期以降に使用し、稲の根が露出している時の使用は避けてください。
- 寒い多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用は避けてください。
- 散布時の田面水を他の作物に湛水しないようにしてください。
- 本剤は、移植前に生育したミスガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
- 強に対して影響があるので、周辺の農薬にはからさないようにしてください。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育前に隣接田で使用する場合には十分に注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。



バイエルクロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262  
www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室 ☎0120-575-078  
(9:00~12:00、13:00~17:00 土・日・祝日を除く)

(L3-3037 14.08.15)





# ポデーガード フロアブル



2成分。白く枯らして、稲を守る。



AVH-301

© バイエルグループの登録商標

